

授業概要

人間文化学科の学生がどの領域においても必要とする、リベラルアーツの基本を平易な英語で理解することにより、それぞれの専攻する分野で必要となるより高いレベルの英語に進むための基本を養成する。

授業計画

第1回	春期の履修内容の確認
第2回	英語で測ってみる
第3回	英語で統計
第4回	英語でビジネス（1）
第5回	英語でビジネス（2）
第6回	まとめと復習
第7回	健康と栄養の英語（1）
第8回	健康と栄養の英語（2）
第9回	英語で地理学（1）
第10回	英語で地理学（2）
第11回	英語で天気予報
第12回	英語で世界の問題を考える（1）
第13回	英語で世界の問題を考える（2）
第14回	英語で犯罪捜査
第15回	英語で料理を作る
第16回	筆記試験

到達目標

人間文化学科のどの領域においても必要となる英語の基礎的学力を養成する。

履修上の注意

語学力の養成には繰り返しが必要である。語彙、表現を何度もノートに書き、繰り返し発音すること（音声データはネットからダウンロードできる）。授業には必ず英和辞典（電子辞書も可）を持参すること。

予習復習

知らない語彙、表現は必ず辞書で調べてくること。授業中にとったノートを繰り返し読み直すこと。

評価方法

担当教員によって多少の異同はあるが、予習・復習の有無、随時行う小テスト、課題の提出などを平常点とし、筆記による定期試験の結果と合わせて評価する。

テキスト

『英語で学ぶリベラル・アーツ』朝日出版社 上村淳子他 1800円（春期と同じ）

授業概要

小学校から英語教育が取り入れられ、さらには保育園や幼稚園でも一定レベルの英語力を持っていることが要請される時代となっている。保育園でのインターンシップに参加した学生の体験を題材としたテキストを用いて、卒業後の進路選択にアドバンテージとなる英語力の養成を目的とする。

授業計画

第1回	春期の履修内容の確認
第2回	英語でアクティビティ（1）
第3回	英語でアクティビティ（2）
第4回	英語で誕生日をお祝いする（1）
第5回	英語で誕生日をお祝いする（2）
第6回	英語で遊ぶ（1）
第7回	英語で遊ぶ（2）
第8回	まとめと復習
第9回	英語でおむつを交換する（1）
第10回	英語でおむつを交換する（2）
第11回	英語で歯磨き（1）
第12回	英語で歯磨き（2）
第13回	英語で上演（1）
第14回	英語で上演（2）
第15回	まとめと復習
第16回	筆記試験

到達目標

幼児教育あるいは小学校での英語教育に対応できる基礎的な英語力を養成する。

履修上の注意

教員として働くためには、資格だけではなく、能力が必要である。今後ますます英語教育が重視される教育現場に身を置くことになることを認識して、真面目に取り組んでもらいたい。授業には英和辞典（電子辞書でもよい）を持参すること。

予習復習

英和辞典を用いて語彙、表現を事前に調べておくこと。テキストには音声CDが付属しているので、予習復習として繰り返し聴き、発音すること。

評価方法

担当教員によって多少の異同はあるが、予習・復習の有無、随時行う小テスト、課題の提出などを平常点とし、筆記による定期試験の結果と合わせて評価する。

テキスト

『保育英語』成美堂 赤松直子 2400円（春期と同じ）

授業概要

ビジネスの分野で必要となる実践的な英語力を養成する。ビジネス関係の語彙、特に新聞やニュースなどで用いられる経済経営用語を習得する。また、ビジネスの場面で必須の基本的な会話能力も養成する。

授業計画

第1回	春期の履修内容の確認
第2回	新製品を売り込もう（1）
第3回	新製品を売り込もう（2）
第4回	旅行の手配をしよう（1）
第5回	旅行の手配をしよう（2）
第6回	社長をお出迎え
第7回	ビジネスランチへの招待
第8回	工場訪問
第9回	京都観光案内（1）
第10回	京都観光案内（2）
第11回	国際見本市に出展
第12回	海外出張に行こう（1）
第13回	海外出張に行こう（2）
第14回	海外出張に行こう（3）
第15回	出張報告書を書く
第16回	筆記試験

到達目標

ビジネスのさまざまな場面で用いられる英語の語彙と表現を習得する。

履修上の注意

語彙や表現の習得にはノートに英語・英文を繰り返し書くこと。会話にも力点を置くので、物おしせず、面倒がらずにはっきりと発声すること。授業には英和辞典（電子辞書でもよい）を持参すること。

予習復習

授業で扱う箇所をあらかじめ指定するので、辞書を用いて語彙などを調べておくこと。随時小テストなどを行うので、復習にも役立ててもらいたい。

評価方法

担当教員によって多少の異同はあるが、予習・復習の有無、随時行う小テスト、課題の提出などを平常点とし、筆記による定期試験の結果と合わせて評価する。

テキスト

『やさしいオフィス英語』成美堂 城由紀子他 1800円（春期と同じ）

授業概要

このクラスは、多数ある英語Ⅱのクラスの中で、すべての学科の英語の上級者を対象としたクラスである。英語Ⅰにおいてその担当者からこのクラスを受講するように勧められた学生はこの授業を受講することを強く勧める。その他、英語の学習に意欲がある人はこの授業を受講して欲しい。

このクラスでは、英語の基礎力の確認、苦手分野の補強をして、大学で英語を学習する上での土台となる英語力を養うと同時に、英語の全般的な力の飛躍を目指す。基本的な文法事項を習得し、その文法事項に関連した練習問題を総合的に行い、英語力の向上を目指す。

授業計画

第1回	イントロダクション（授業の概要、評価方法などの説明） 時制（現在）	
第2回	時制（現在・過去・未来）	
第3回	時制（現在完了）	
第4回	文型（1）：第1文型～第3文型	解説
第5回	文型（1）：第1文型～第3文型	練習問題
第6回	文型（2）：第4文型～第5文型	解説
第7回	文型（2）：第4文型～第5文型	練習問題
第8回	受動態：解説	
第9回	受動態：練習問題	
第10回	中間試験	動名詞：解説
第11回	動名詞：練習問題	不定詞（1）：基本3用法 解説
第12回	不定詞（1）：基本3用法 練習問題	不定詞（2）：応用 解説
第13回	不定詞（2）：応用 練習問題	分詞の形容詞的用法：解説
第14回	分詞の形容詞的用法：練習問題	関係詞：解説
第15回	関係詞：練習問題	
第16回	定期試験（筆記試験）	

到達目標

英語の基礎的な力を定着させると同時に、辞書があれば日常的な英文が表現できる応用力を養うことを到達目標とする。

履修上の注意

英語の学習に意欲があり、さらに上のレベルを目指したい者はこの授業を受講する資格がある。英語Ⅰにおいてその担当者からこのクラスを受講するように勧められた受講生はこの授業を受講することを強く望む。その他の者も、英語の学習に意欲があればこの授業を受講できる。

このクラスを受講する者はこのクラスのみを履修登録すればよい。春期の英語Ⅰと同じクラスの英語Ⅱを同時に登録しないように注意すること。このことを含めて注意事項を初回の授業において説明するので、かならず出席すること。

予習復習

毎回辞書を持参して、積極的に授業に参加することが必要である。英語の基礎力定着と応用力養成のために毎回予習と復習をかならず行うこと。

評価方法

筆記試験、予習と復習の有無、授業中、学習に臨む姿勢などによって総合的に評価する。

テキスト

テキストは使用しない。適宜、プリントを配布する。

授業概要

この授業は、これまで培ってきた英語の基礎力の確認、苦手分野の補強をして、大学での英語の学習をする上での土台となる英語力を養成する再履修科目である。

各単元では、基本的な文法事項を確認し、その練習問題を行うことによって、これまでの英語の力を補強し、英語の基礎力向上を目指す。適宜、短い文章も読んでみたい。

授業計画

テキストの項目に沿って、以下の文法事項を学習する予定である。なお、授業の進捗により学習内容に変更が加えられることがある。

第1回	イントロダクション：授業の概要、成績の評価方法などの説明
第2回	Unit 11 比較：解説 & 練習問題
第3回	Unit 11 比較：練習問題の続き
第4回	Unit 14 不定詞（Ⅰ）・動名詞（Ⅰ）：解説 & 練習問題
第5回	Unit 14 不定詞（Ⅰ）・動名詞（Ⅰ）：練習問題の続き
第6回	Unit 15 受動態：解説 & 練習問題
第7回	Unit 15 受動態：練習問題の続き
第8回	Unit 16 現在完了：解説 & 練習問題
第9回	Unit 16 現在完了：練習問題の続き
第10回	Unit 20 不定詞（Ⅱ）：解説 & 練習問題
第11回	Unit 20 不定詞（Ⅱ）：練習問題の続き
第12回	Unit 22 分詞・動名詞（Ⅱ）：解説 & 練習問題
第13回	Unit 22 分詞・動名詞（Ⅱ）：練習問題の続き
第14回	Unit 23 関係代名詞：解説 & 練習問題
第15回	Unit 23 関係代名詞：練習問題の続き
第16回	定期試験（筆記試験）

到達目標

英語の基礎力を総合的に身につけ、今後の大学で英語を学習するための基本的な力を養うことを到達目標とする。

履修上の注意

授業には必ずテキスト、ノート、英和辞典を持参すること。持参しなければ出席とはみなさない。なぜこの再履修科目を履修しなければならなくなったのか、各自振り返った上でこの授業に臨んでいただきたい。

予習復習

英語の基礎力を身につけるために、毎回予習、復習をかならず行うこと。予習、復習を怠らなければ、英語の力は確実に向上していくはずである。

評価方法

小テスト（10点）、課題（30点）、定期試験（60点）によって総合的に評価する。詳しい評価方法については初回の授業で説明するので必ず出席のこと。

テキスト

佐藤哲三他 *First Primer* <Revised Edition> (『基礎からの英語入門』 <改訂新版>) (南雲堂)